



**CubeSoft**  
Concurrent Universal Bright Engine



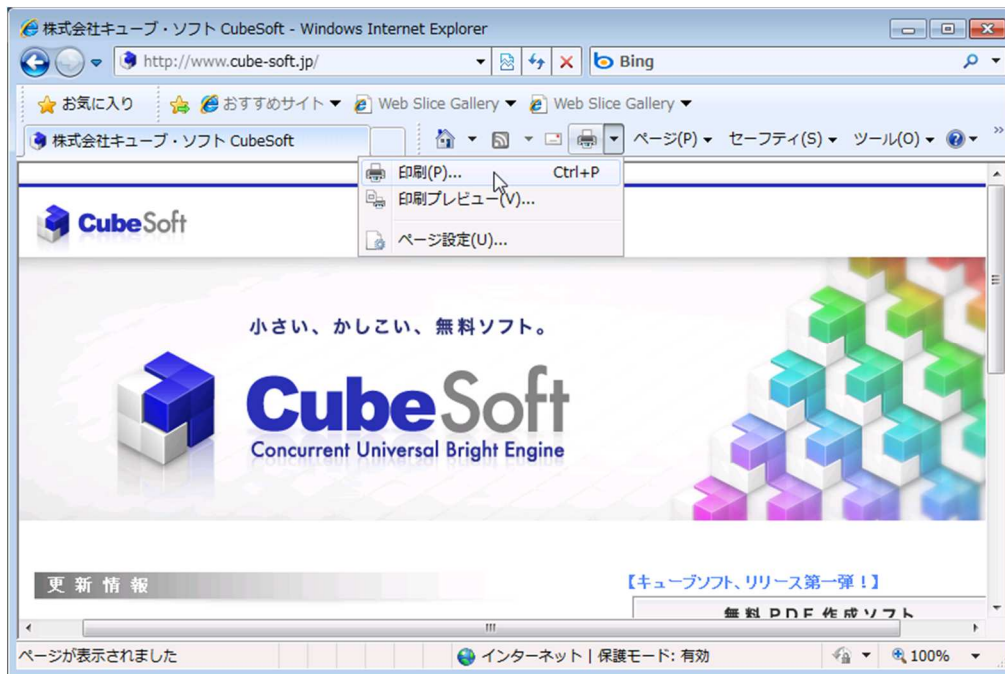
# Cube PDF ユーザーズマニュアル

2011.10.18 第5版

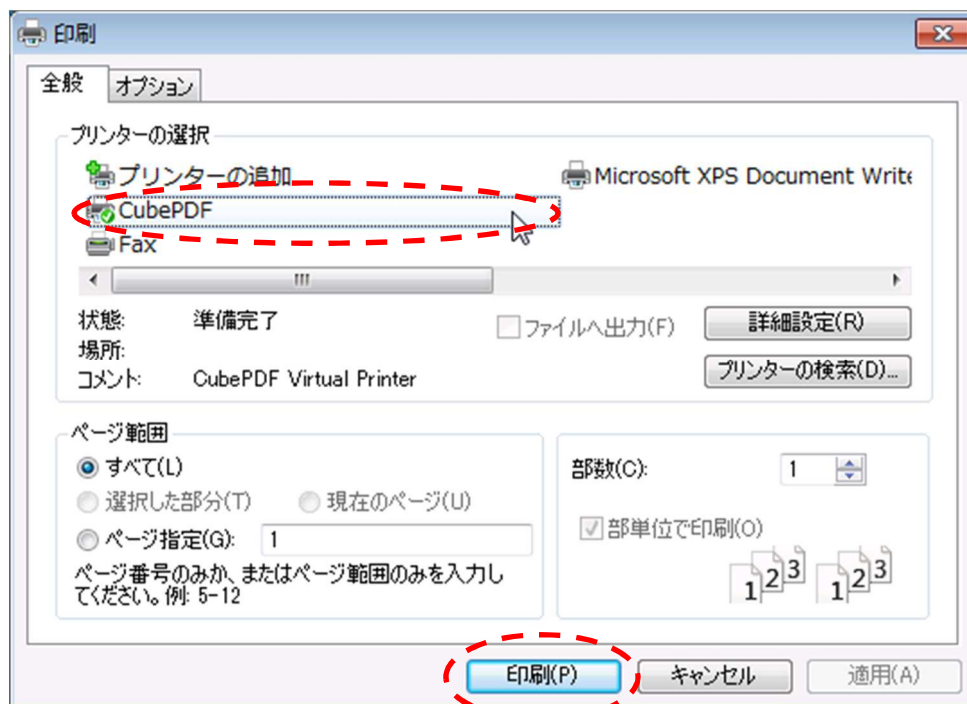
## 1. PDFの作成

CubePDF は、PDF プリンタとしてインストールされます。そのためCubePDF を使用してご利用のコンピュータのどのプログラムからでも文書を PDF へ変換することができます。

1-1 文書のプログラムで「印刷」を選択します(図はInternet Explorerの例)。

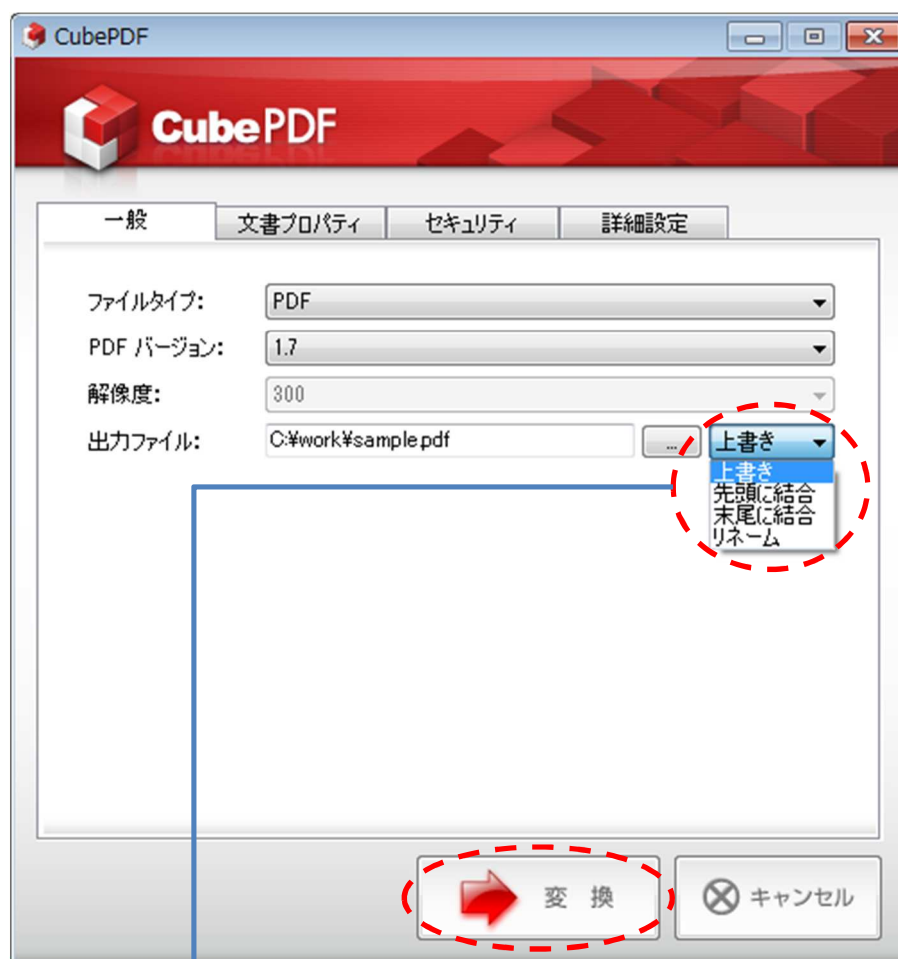


1-2 利用できるプリンタの一覧から「CubePDF」プリンタを選択し、「印刷」ボタンをクリックします。







1 - 3 新しいウィンドウにて次の画面が表示されます。

「出力ファイル名」欄で保存箇所を確認し、「変換」をクリック。  
(保存箇所を変更する場合は、「出力ファイル名」の右欄にある「…」ボタンをクリックして変更してください。)



※PDFファイル生成時の形態  
既存のPDFファイルに結合することができます。

<p>「上書き」で変換すると指定したファイル名でPDFファイルを生成します。</p> 	<p>「先頭に結合」の場合、指定したPDFファイルの先頭に追加したPDFファイルを生成します。</p> 	<p>「末尾に結合」の場合、指定したPDFファイルの末尾に追加したPDFファイルを生成します。</p> 	<p>「リネーム」の場合、sample (2).pdf のように別のファイル名でPDFファイルを生成します。</p> 
--	---	--	--

基本的なPDFの作成の仕方は以上です。  
詳細設定については、次項にて解説していきます。

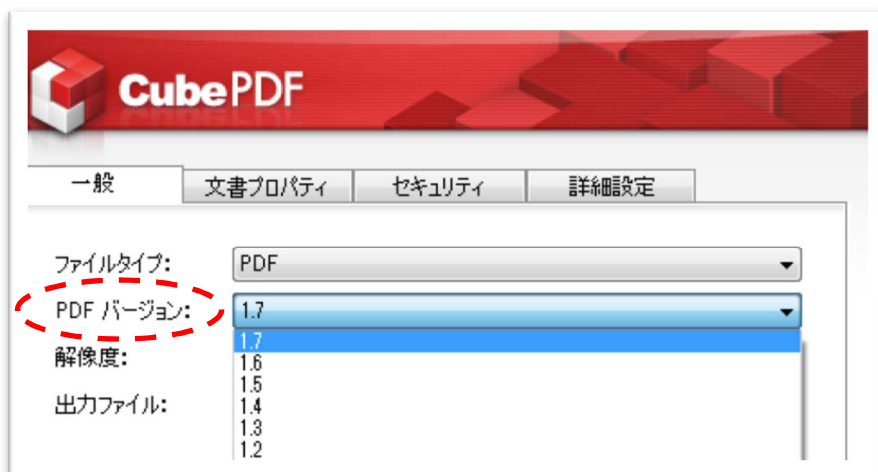
## 2. CubePDFのオプション設定

### 2-1 一般

ファイルタイプから、PDF形式以外にも各種形式に変換することが可能です。プルダウンで形式を選んでください。



PDF形式の場合、PDFのバージョンを選択することができます。  
現在の最新バージョンは1.7なので、1.7でご利用されることを推奨します。



JPEGなど画像形式を選択した場合、解像度を選択することができます。

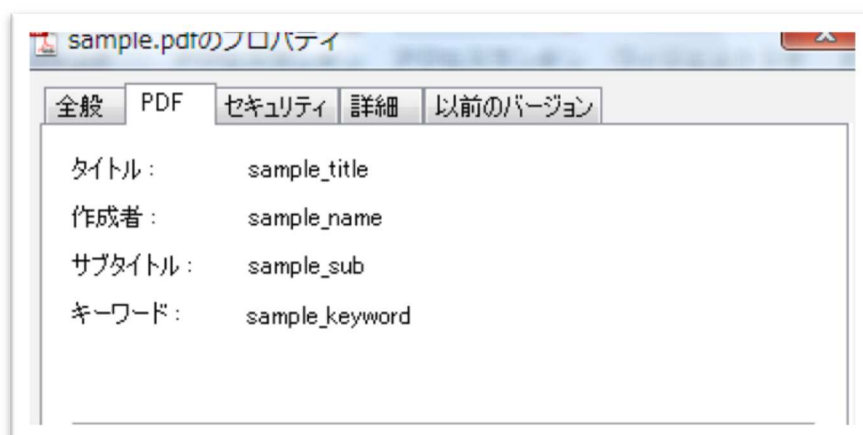


## 2-2 文書プロパティ

「ファイルタイプ」において「PDF」を選択した場合、タイトルや作成者などの情報を登録することができます。



登録した情報は、作成したPDFのプロパティから確認することができます。



## 2-3 セキュリティ

「ファイルタイプ」で「PDF」を選択した場合、作成した文書にパスワードを設定することができます。文書を開く際にパスワードを設定する場合は、「文書を開くときにパスワードを求める」をチェックし、「パスワード」及び「パスワードの確認」欄に、同一のパスワードを入力してください。

また、PDF文書の印刷やコピー、回転などの操作を許可するかどうかを選択することもできます。特定の操作のみ許可する場合は、「指定した操作のみを許可する」にチェックし、「パスワード」及び「パスワードの確認」欄に、同一のパスワードを入力した後、許可する操作を選択してください。



**※注意** セキュリティ機能の「指定した操作のみを許可する」で指定するパスワードは、PDF 編集ツール等で許可する操作を変更する際に必要となるもので、作成されたPDFの閲覧などの各種操作では、通常、必要となる事はありません。

また、この操作では「許可する」か「許可しない」かのみを設定する事ができます。したがって、「(印刷等の)特定の操作を行う際にパスワードを要求する」と言ったような設定をする事はできません。

## 2-4 詳細設定

ダウンサンプリング(画像内のピクセル数を減らすことで容量を軽くします)を設定することができます。

**平均化** … 作成した文書のピクセルが平均化され、文書全体を指定解像度の平均ピクセルカラーに置き換えます。

**バイキュービック** … 加重平均を使用してピクセルカラーを決定します。この方式では、通常ダウンサンプリングの単純な平均法よりも滑らかになります。その反面、処理時間が最も大きくなります。

**サブサンプル** … 文書全体の中心にあるピクセルが選択され、全体が選択されたピクセルカラーに置き換えられます。サブサンプル法は処理時間が大幅に短縮されますが、滑らかさは劣ります。



オプションは以下の通りです。

**ページの自動回転** … 縦横の比率から、画面に表示しやすいよう最適な方向に自動で回転します。

**フォントの埋め込み** … フォントの埋め込みを行うと、文章で使用しているフォントがない環境でも表示できるPDFを作成することができます。しかし、ファイルサイズが大きくなります。

※注意 現在、フォントを埋め込まずにPDFを作成すると文字化けが発生する不都合が確認されています。そのため、現在のバージョンでは強制的にフォントを埋め込むようにしています。

**グレースケール** … 白黒でPDFを作成します。白黒印刷される際に便利です。

**Web表示用に最適化** … PDFを作成した際に、WEB表示に最適な縮尺を判断して表示します。





その他の設定については、以下のとおりです。

**設定を保存する** … この項目にチェックを入れると、「文書プロパティ」、「セキュリティ」以外の全ての項目の選択状態が保存され、次回からはその状態で CubePDF が起動します。

詳細については、<http://blog.cube-soft.jp/?p=84> を参照下さい。

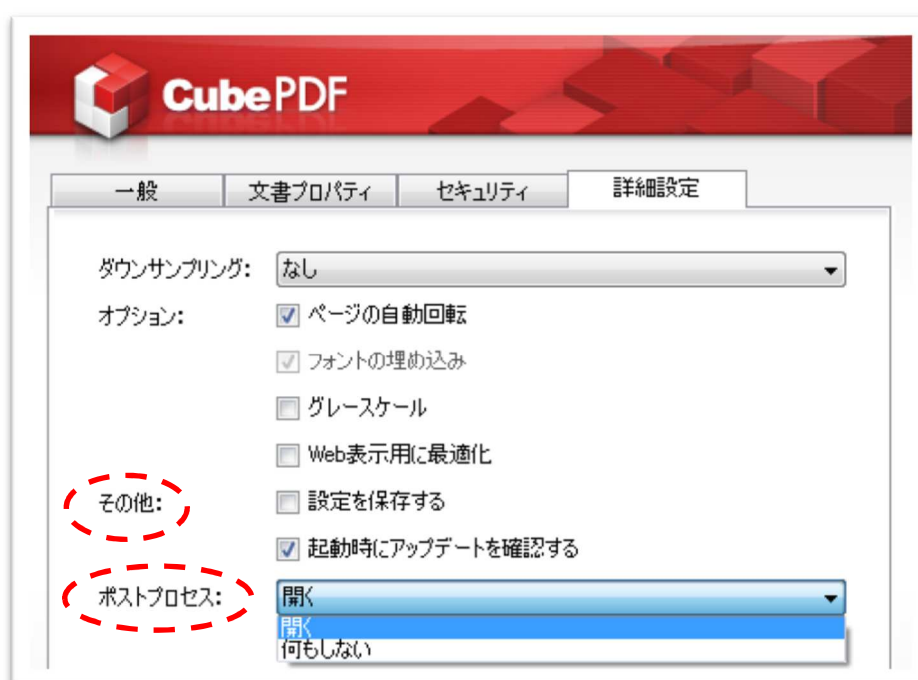
**起動時にアップデートを確認する** … この項目にチェックを入れると、CubePDFがバージョンアップされた際に更新案内が表示されます。アップデートの確認は、パソコンの起動時に行われます。

ポストプロセスは、変換後の処理を選択する事ができます。

**開く** … 「ファイルタイプ」で指定した各種ファイルに関連付けられたアプリケーションで、作成されたファイルを開きます。

**ユーザープログラム** … 任意のプログラムを指定することができます。詳細については、「3 - 1 他のアプリケーションとの連携」を参照下さい。

**何もしない** … 変換終了後に何も処理を行いません。



CubePDFのロゴをクリックすると、バージョンを確認することができます。

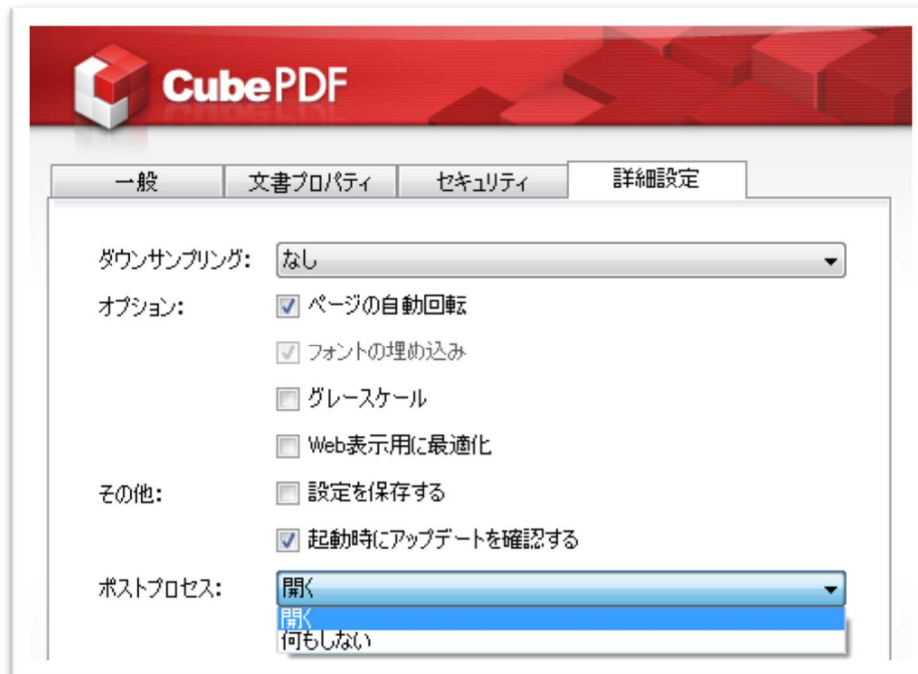




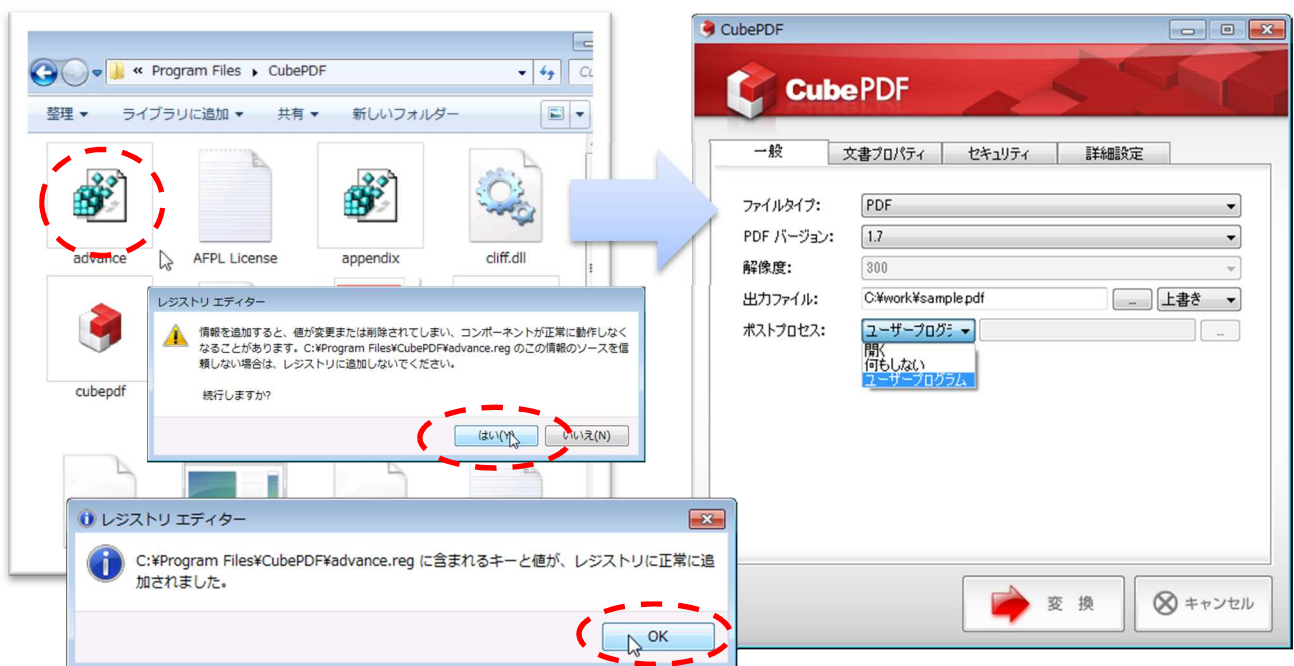
### 3. CubePDFの拡張機能(アドバンスモード)

#### 3-1 他のアプリケーションとの連携

ポストプロセスは、初期設定では詳細設定タブにあり、「開く」「何もしない」のみ選択することができます。

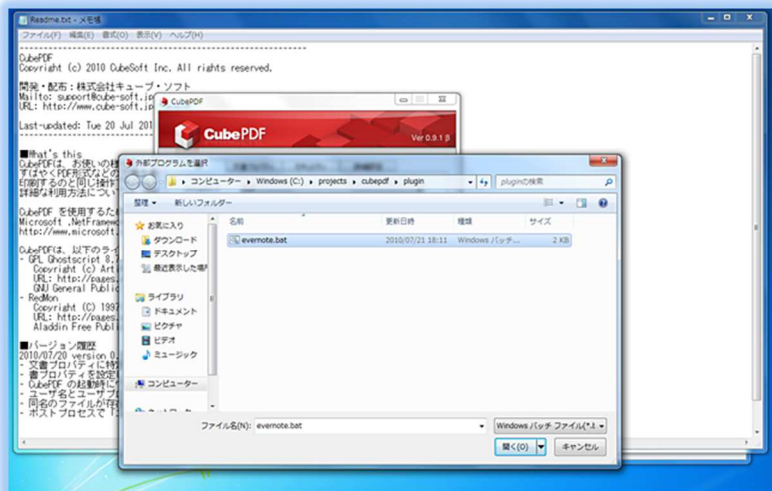


「アドバンスモード」にすると「ポストプロセス」が「一般設定」に移動し、「ポストプロセス」の一覧に「ユーザープログラム」が追加されます。これを利用することによって、他のアプリケーションと連携することが可能になります。「アドバンスモード」にするには、CubePDFのインストールフォルダにあるadovence.regをダブルクリックします。

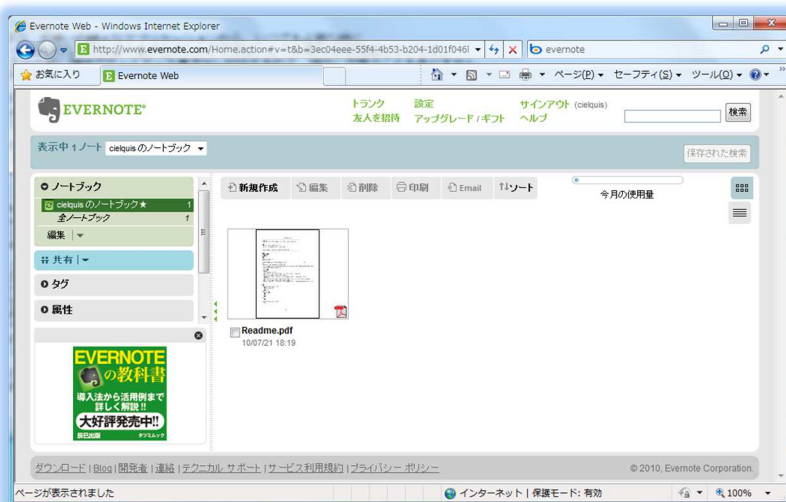
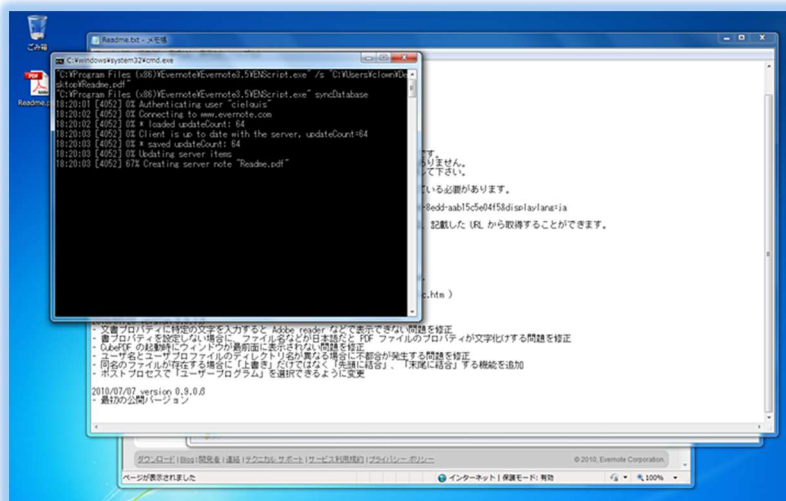


## 例. EVERNOTEとの連携

アドバンスモードでEVERNOTEと連携させた場合です。



連携用には bat ファイルを使用します。  
連携用バッチファイル説明については  
<http://blog.cube-soft.jp/?p=10> を参照下さい。



Evernote for Windows を起動せずに  
アップロードまでスムーズに！

## 4. CubePDFのアンインストール

アンインストールには、2通りの方法があります。

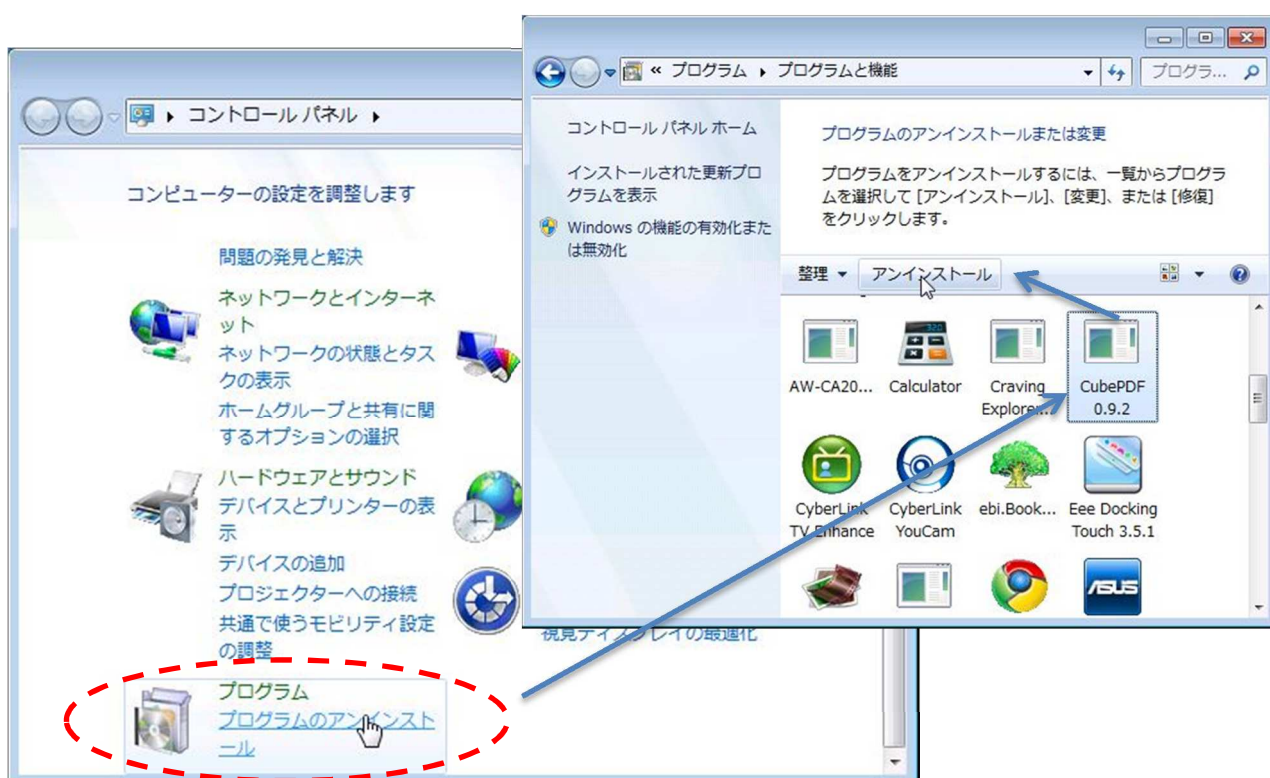
(1) スタートメニューからアンインストールする方法

「スタートメニュー」内の「CubePDF」→「CubePDFをアンインストールする」をクリックします。



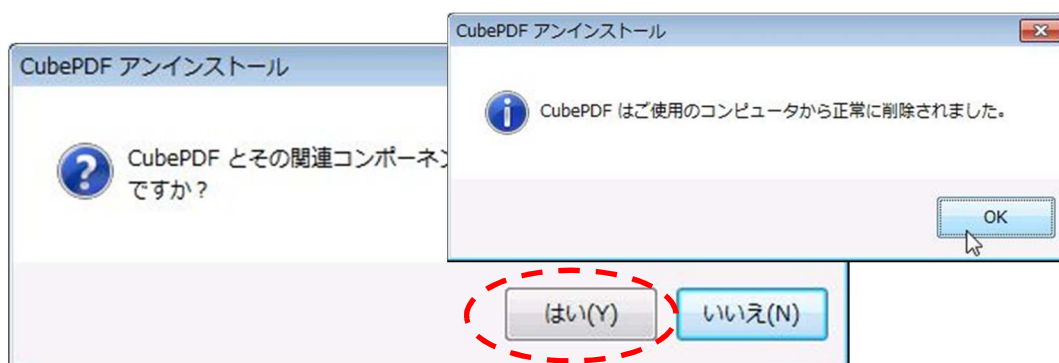
(2) コントロールパネルよりアンインストールする方法

「コントロールパネル」から「プログラム」→「プログラムのアンインストール」を選択します。



CubePDF x.x.x (バージョン番号) のアイコンをクリックしアンインストールをクリックします。

どちらの場合も、下の画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



## Appendix. Tips

### Appendix – A 生成するPDFの画像を綺麗にする

- (1) 利用できるプリンタの一覧から「CubePDF」プリンタを選択し、[詳細設定] ボタンをクリック
- (2) 用紙/品質タブの詳細設定をクリック
- (3) グラフィック、印刷品質をプルダウン
- (4) 印刷解像度を上げる
- (5) OKをクリック
- (6) 印刷ボタンを押す
- (7) PDFファイルを生成

